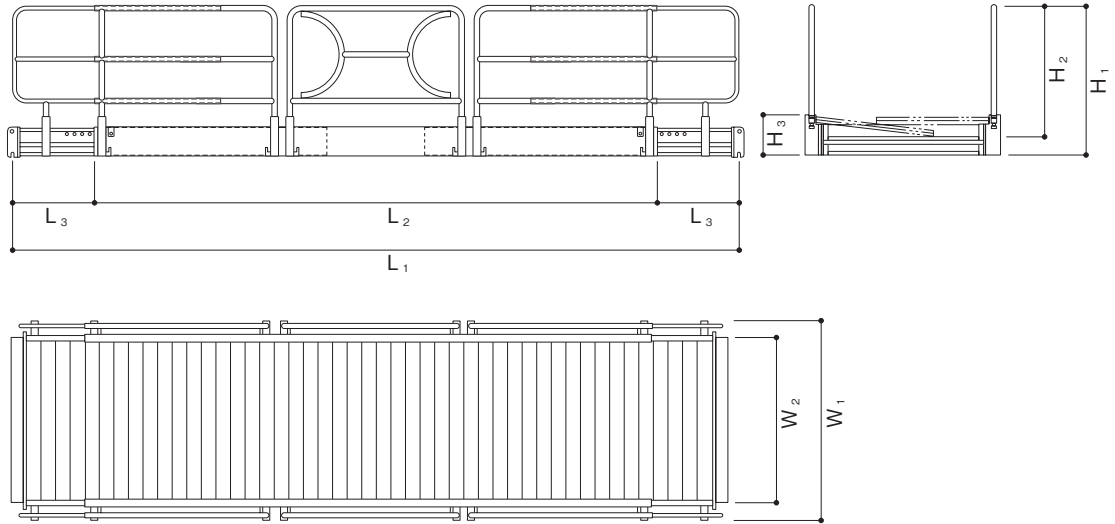


# ハイブリッジ

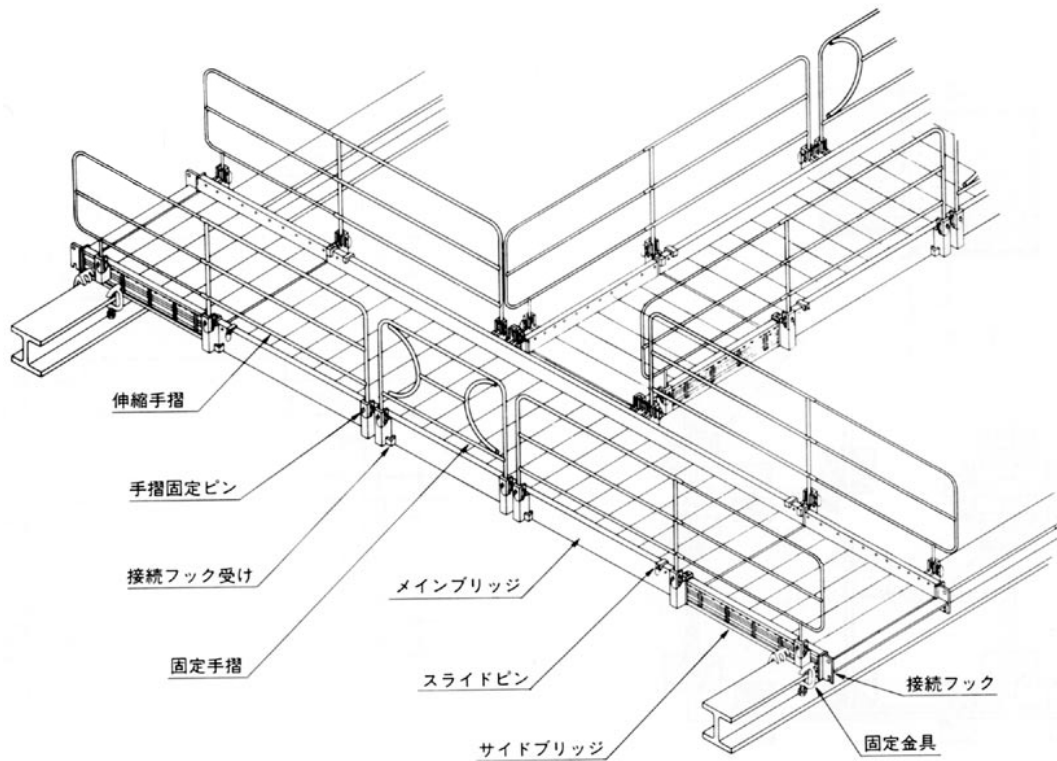
仕様

ハイブリッジ

HBAL



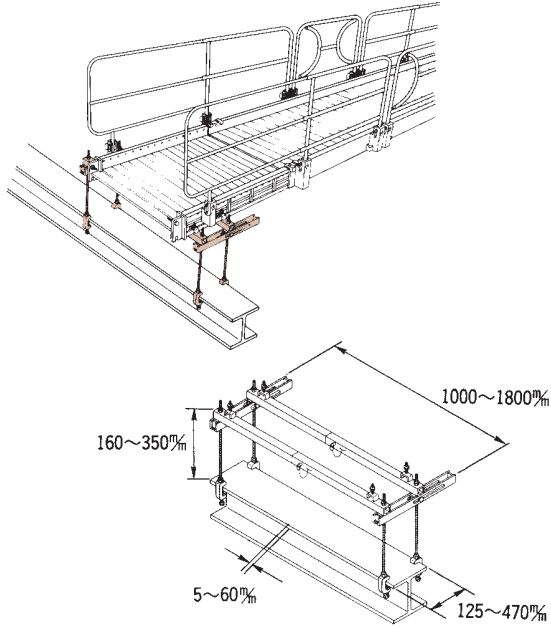
記号	全長 (L <sub>1</sub> ) mm	メインブリッジ 長 (L <sub>2</sub> ) mm	サイドブリッジ 長 (L <sub>3</sub> ) mm	全巾 (W <sub>1</sub> ) mm	通路巾 (W <sub>2</sub> ) mm	全高 (H <sub>1</sub> ) mm	手摺高 (H <sub>2</sub> ) mm	折たたみ高 (H <sub>3</sub> ) mm	質量 kg
HBAL 43-65	4340~6540	3840	250~1350	1330	1100	1021	901	275	227
HBAL 65-96	6540~9640	6240	150~1700	1330	1100	1021	901	275	314



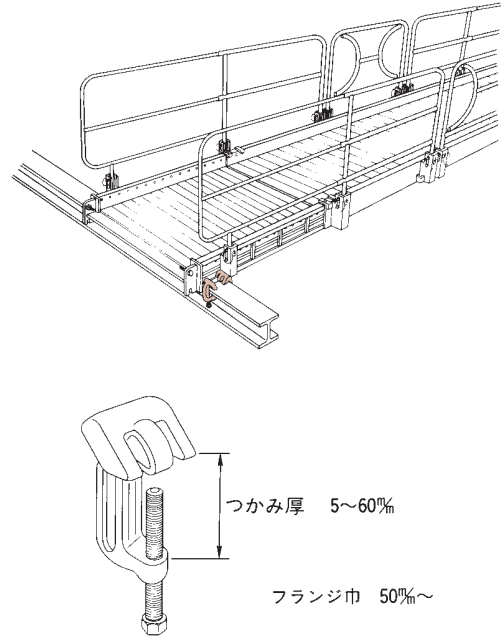
ハイブリッジ

# ハイブリッジ

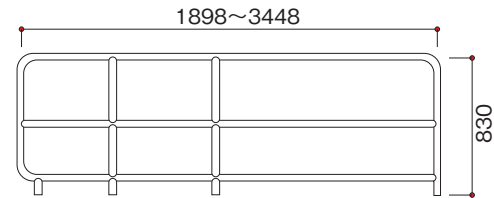
## 部材



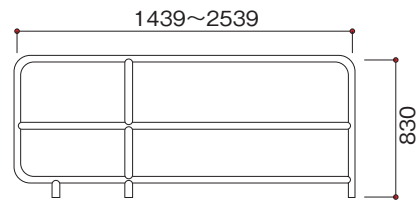
SRC造用固定金具 HBG-SRC (24.4kg)



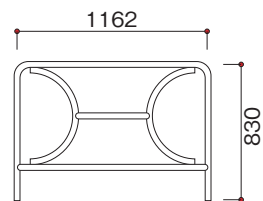
S造用固定金具 HBG-S (0.8kg)



伸縮手摺 HBG-133ST (17.0kg)



伸縮手摺 HBG-83ST (12.3kg)



固定手摺 HBG-116KT (7.5kg)

部材名	HBAL 43-65	HBAL 65-96
ブリッジ本体 4365B	1	—
6596B	—	1
伸縮手摺 133ST	—	4
83ST	4	—
固定手摺 116KT	2	4
固定金具 S	8	8
SRC	(2)	(2)

\*端部手摺はオプション品です。  
直列接続の時、接続1ヶ所当り2枚の接続プレートが必要となります。  
直交接続で固定手摺以外の場所で接続する時は、別途に取付金具が必要  
です。  
又、手摺も一部変更となります。

# ハイブリッジ

## 架設計画

### ●架設条件と許容積載荷重

接続条件		単独使用	直列接続	直交接続
架設条件	架設例			
	支持間隔 (mm)	HBAL 43-65 (4340~6540)  $4200 \leq L \leq 6400$ LO = H 鋼フランジ巾	$L1 \leq 1200$ (L1 = 張出量)  支持梁上以外で接続 (支持梁上ではフランジ巾 300以上とする。	$L \leq 6400$
許容積載荷重		2.94kN(300kg)/スパン		2.94kN(300kg)/ブロック
備考		端部は必ず4点固定		

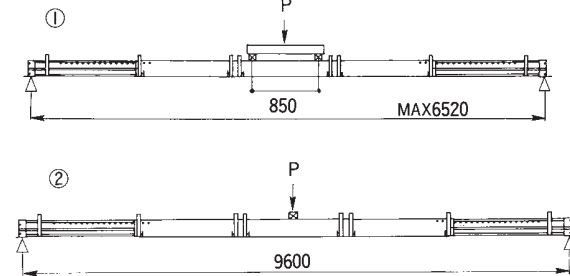
### ●荷重試験

荷重による変位

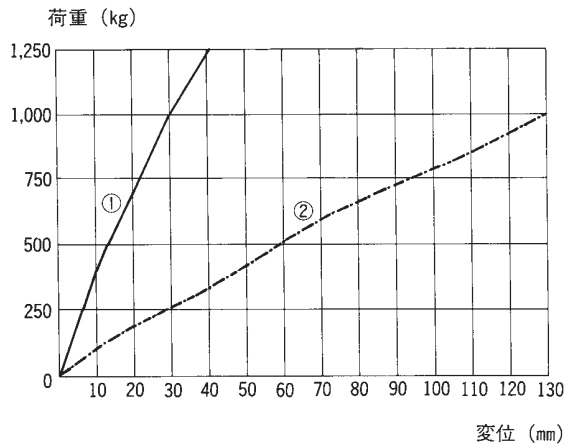
#### (1) 試験条件

- ① HBAL43-65、L=6520mm・巾=1100・初期タワミ=3mm
- ② HBAL65-96、L=9600mm・巾=1100・初期ムクリ=13mm

#### (2) 試験方法



#### (3) 荷重-変化グラフ



### ●架設上の注意事項

#### (1) 荷重制限

ハイブリッジの架設の際は、架設条件と許容荷重の表に基づいて計画して下さい。

#### (2) 直列接続

ハイブリッジは支持梁上に接続点ができるように設計されていますので、連続使用の場合には、必ず接続箇所が梁上に来るようにして下さい。割付上、支持梁より張り出して使用する場合は、架設条件の張り出し量の制限を必ず守って下さい。

#### (3) 直交接続

交差接続される場合には、接続フックを確実に引っ掛けボルトで左右2ヶ所を必ず締めて下さい。

#### (4) 端部

通路最端部には、必ず端部手摺を取り付けて下さい。

#### (5) 固定

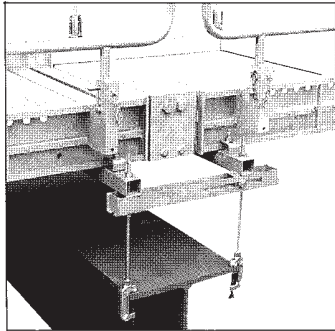
ハイブリッジの転落、ズレ防止のため、S造用固定金具4個または、SRC造用固定金具の4ヶ所の固定部で必ず支持梁に固定して下さい。(支持梁1本当たり)

#### (6) 移動時の注意

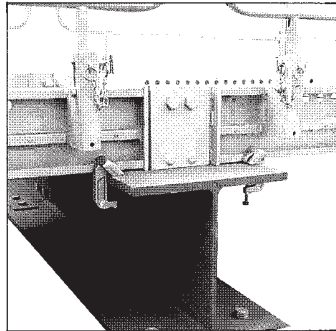
ハイブリッジをトラックで運搬する場合、またはクレーン等で移動する場合は、サイドブリッジにスライドピンを差し込み、固定金具で確実に締め固定して下さい。

# ハイブリッジ

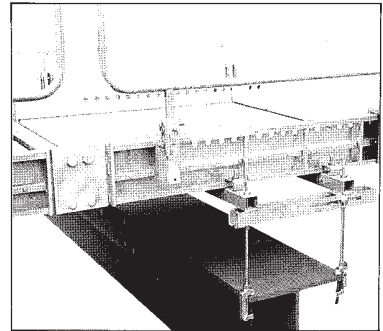
(直列接続部) SRC造



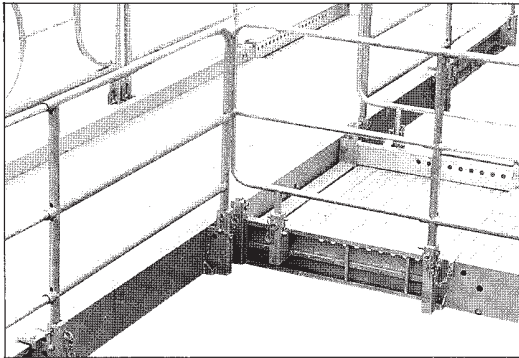
(直列接続部) S造



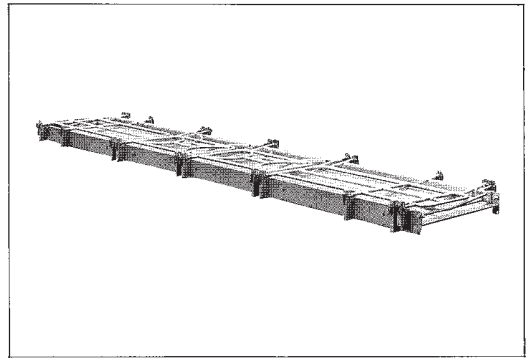
(直列接続部) 張出し



(直交接続部)



(折り畳み状態)



ハイブリッジ

